

賑やかに！ 竜丘市民運動会

～令和初開催～



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,620人
男子 3,209人
女子 3,411人
世帯数 2,639戸
(5年9月末現在)

十月八日、午後雨予報の曇り空の下、台風とコロナで四年連続中止だった竜丘市民運動会が、半日の縮小ながら五年振りに開催されました。各分館、新種目の攻略を練って臨み、熱い戦いが繰り広げられました。

開会式の後、児童と園児のかけっこ「かけっこ、丘っこ、元気っこ」、「それいけチビッコ」で競技が幕開け。学年毎に、子ども達がトラック半周程を全力疾走しました。年少と年中のクラスは保護者が子どもの手を引いたり抱えたりして、完走する姿も見られました。続いて、分館対抗で新方式の「玉入れ」。三方向から各六人がリレー形式で、一人四球の持ち球を投げ、一分間に中央の籠に入った玉の数を競うのです。一球一球投げる人や、全球まとめて投げる人、それぞれのスタイルでチャレンジャーがいました。籠に入った玉を数えて結果がわかると、各分館からため息や歓声が上がっていました。

次も分館対抗の「打って、捕って、頑張って」。七人一チームとなり、ファミリアバドミントンの道具を使って、ラケットで打ったシャトルを、数メートル先の

の数名の捕手役がプラスチックメガホンを使って捕球した数を競うのです。持ち球の数が限られているため、返球を受ける人も重要です。初登場の種目でもあり、どの分館も研究して臨んでいました。

「いいものみ〜つけた」は、園児が数十メートル先の宝物の付いた風車を取りに走るもの。子どもを見守る保護者も必死に走らされていました。

続いて初登場の分館対抗「空飛ぶ大玉」は、四人で持つ二メートル四方ほどのブルーシートにバランスボールを載せて、複数組がリレー形式で走る競技でした。シートがまくれて大玉が落下したり、選手が転倒したりしてしまいうチームもあり、順位が変動する度に観客も一喜一憂していました。

分館対抗の競技中の時又分館席からは、分館カラーのステイックバルーンを手にした児童の応援歌と応援



大会長あいさつ



各分館代表の宣誓



桐林優勝旗返還



ラジオ体操 来賓の佐藤市長

羽生大会長（公民館長）は「趣を変え、思うに任せない点もあったと思うが、意見は次に生かしていく」と、久しぶりの運動会を締め括りました。

総合結果は、駄科分館の優勝となりました。万歳の発声を務めた駄科の塩澤分館長は、五年ぶりの開催を喜び、実行委員等関係者への感謝を述べた上で、「選手選考が難しくなる中で、競技の見直しも時代の流れだろう」とも語られていました。

最後に、来場者の運試しの「富くじ抽選会」が行われ、十数名が立派な景品をお土産にされていました。



応援 駄科分館



応援 時又分館

順	種目	対象
1	かけっこ、丘っこ、元気っこ！	小学生
2	それいけチビッコ！	保育・幼稚園児
3	玉入れ【採点】	小学生以上
4	打って、捕って、頑張って！【採点】	小学生以上
5	いいものみ〜つけた！	小学生未満
6	空飛ぶ大玉【採点】	小学生以上
7	〇×クイズ〈中学生企画〉	参加者全員
8	富くじ抽選会	参加者全員



最終得点

台風とコロナにより、中止が続く、五年ぶりに開催する事が出来た。天気も心配でしたが、何とか午前中は、半日開催が良結果となりました。例年行ってきた聖火リレーは、関係者の負担、安全を考慮し取り止めました。他に何か出来る事を検討し、大会長の提案により開会式の選手宣誓を各分館から子ども二名を選出し順番に行いました。

競技は、小学生や園児のかけっこから始まり、スタートの合図と共に元気いっぱい競っていました。この他にコロナ禍で開催出来る様、密集を避ける工夫をした新種目を取り入れられました。各分館共に作戦を練ります。

執行委員長を務め、不安や緊張がありました。皆で協力し、作り上げ、成し遂げたこと。達成感を感じ、感謝の気持ちを忘れません。改めて運動会の価値を実感しました。今後も毎年、開催出来ることを願っています。



玉入れ



竜丘市民運動会について
体育委員長 鎌倉健次



駄科分館 打って、捕って、頑張って！最高得点



優勝旗授与



トロフィー授与



緑中ボランティアの4人



中学生企画 〇×クイズ



時又灯ろう流し アナウンズに込める想い

宮嶋聰子さん (桐林) インタビュー

時又灯ろう流しの魅力は天竜川の水面を流れる灯ろう・伊那谷に響き渡る花火、そして心暖まるアナウンスもその一つでしょう。そのアナウンスを長年務めてきた宮嶋聰子さんが今年を区切りにアナウンスを引退されるかもしれないとお聞きし、アナウンスをするきっかけや裏舞台・思い出などをお聞きしました。

宮嶋さんの仕事はただ原稿を読むだけではなく多岐にわたります。祭りの終了時間を守って花火を打ち上げるには一本二十一の

灯ろう流しのアナウンスは昭和の終わり頃から担当し、三十年以上続けてきました。当時、宮嶋さんは商工会議所竜丘支所で事

務を行いつつ、灯ろう流しの協賛金の整理や祭りのスケジュール調整や資料作りを担当していました。その時のアナウンスは南信州新聞社の篠田さんが行っており、宮嶋さんはアシスタントとして関わっていました。篠田さんが体調不良でアナウンスをできなくなつたため、宮嶋さんに白羽の矢が立ったということでした。

打ち上げる花火に、流れゆく灯ろうに、人々の想いがつまっていることに、この祭りの大切さを感じていると語られました。



「水辺の生物の観察会」では「かわらんべ」の中村

先生、山田先生と下伊那教育会生物研究会の先生方のお話のもと、子どもたちが、どんな生き物がいるか一生懸命に探っていました。小魚や小さなエビやアメリカザリガニなど、たくさん捕まえて先生方に生態について説明を聞きました。その



今年九月になつても猛暑日が続く、秋の訪れをなかなか感じる事ができませんでしたが、皆さんは「秋」と聞いて何をイメージしますか?食欲・スポーツ・芸術・読書など秋には色々なイメージがあります。やはり一番に食欲の秋を思い浮かべる方は多いのかと思います。

「大きなシャボン玉を作ろう」では南信州おもしろ科学工場の三浦先生のもと子どもたちが楽しそうにシャボン玉を飛ばしていました。

会場では「かき氷のふるまい」も行われ、涼を求め、美味しそうにかき氷を頬張っていました。暑い中、新しい発見も出来て楽しいひとときを過ごしました。

丘の語り部たち 第6集原稿募集



の様子やこの竜丘の姿が彷彿ときます。この地域に住む人たちがどのような思いで、どんな暮らしをしてきたか、どのようにこの地域が変わってきたのかを読み取れます。また、仲間を誘って趣味の活動に取り組んだことや、意志を貫き自分の願いを達成した方のお話など、時間を忘れて引き込まれてしまいます。

十月十四日、天気が下り坂で少々不安の中、桐林秋祭りが行われました。今年度は大人神輿はなく、子供神輿が十三時三十分、桐林八幡社をスタートしました。桐林区内一つのコースをリレー方式で練り歩きました。終着が自治振興センターで少々不安の中、桐林秋祭りが行われました。



十六時から鈴岡太鼓の演奏で機運が高まり、花火の本打ちが十九時より始まりました。間近で観られて聴ける、スターマインや数年ぶりのナイアガラ、最後は六分強の音楽花火。充実の大煙火でありました。

自治振興センター駐車場では、十四時半から、ジャズバンド演奏、輪投げ・ストラックアウト・射的が得意、子ども達が夢中で遊び回っていました。

十五時から、キッチンカーもオープンし、花火の時間が近づくにつれて長蛇の列ができピーク時にはかなり待たされた方も出てしまいました。

小学校グラウンドでは、令和五年年度の公民館活動推進功労者表彰で、次の三名の方が表彰されました。

竜丘公民館文化部に在籍していた方々が独立して「民俗資料保存委員会」を立ち上げてから今年で五十年になります。これまで、多くの活動をしてきました。その中の一つに「丘の語り部たち」という本の発行があります。昭和五十八年から始め、すでに第五集まで発行されています。それぞれの本のページをめくってみると、当時の生活

第五集が発刊されてから十年が過ぎました。時代も変わり、経済も停滞、ここ何年かは大変な病気がはやって人との関わりが持てない時が続きました。このことも記録に残しておきたいものと考えます。災難の時をいかにして切り抜けてきたか、後世に伝え残していきたいものです。

そこで、第六集を発行したいと考え、原稿募集を始めた。ぜひふるって寄稿して頂きますようお願い致します。来年三月頃までに寄せていただければ感謝です。よろしくお願致します。

令和五年年度の公民館活動推進功労者表彰で、次の三名の方が表彰されました。

塩沢 和至さん (桐林) 広報委員 (二十二年・内二年は委員長 育成委員 (三年・内二年は委員長) など二十四年 (内、重複あり) 一年は委員長)

林 厚さん (時又) 体育委員 (十二年・内五年はスポーツ推進委員を兼任) 時又分館主事 (二年) など二十年

松野 由幸さん (時又) 広報委員として十年 (内一年は委員長)

公民館表彰

令和五年年度 三名が表彰

げんきにあいさつしよう

令和5年度 竜丘小学校のみなさんからのあいさつ標語を紹介します。

元氣よく ひびくあいさつ 私から 地いきの人へ つながるえがお 4年1組 正田 里帆	おはようは みんなのげんきの はじまり 2年2組 中山 葵仁	あいさつは、 みんなが笑顔になるまほう 5年1組 杉山 竣士
げんきよく あいさつしよう えがおだね 1年1組 安部 優成	あいさつされたら きもちがスツクリ 1年2組 松澤 那雄	じぶんからあいさつ ずんたあいては 気持ち通じるよ。 2年1組 庵澤 彩音
こんには いっしゅんのゆうきで えがおつながる 2年2組 大平 龍美	げんきよく あいさつしよう えがおだね 1年1組 安部 優成	あいらずは ちいきの人との つながりだ 4年2組 西川 輝帆
あいらずは 「なやくなる」の だいじっば 3年1組 北原 花羽	あいらずは 相手の笑顔 あいさつで 3年2組 五十鈴川 魁	わたしから あいさつえがお ちいきにね 4年1組 中山 莉緒
あいらずは ねむい私の めざまし時計 5年1組 岡本 珠	あいらずは 人とのつながり 笑顔出る 5年2組 下平 心	おはようで 笑顔の一日 スタートだ 6年1組 伊藤 心
あいらずは 地域の人へ きらきら光る あいさつとどけよう!! 6年2組 石原 心愛		

竜丘公民館 育成委員会

あいさつ標語



中でもココニヤンマというトンボのヤゴが見つかり、竜丘では初めての発見となりました。アメリカザリガニは今年から特定外来生物に指定され一度捕まえたものを川へ帰すと罰金になり

会場では「かき氷のふるまい」も行われ、涼を求め、美味しそうにかき氷を頬張っていました。暑い中、新しい発見も出来て楽しいひとときを過ごしました。

今年九月になつても猛暑日が続く、秋の訪れをなかなか感じる事ができませんでしたが、皆さんは「秋」と聞いて何をイメージしますか?食欲・スポーツ・芸術・読書など秋には色々なイメージがあります。やはり一番に食欲の秋を思い浮かべる方は多いのかと思います。

では、なぜ秋は食欲が増すのでしょうか。秋になると夏バテで失われた食欲が回復するから、秋刀魚・栗・かぼちゃ・松茸といった秋ならではの食材が沢山あるから、冬に備えるためなど理由は色々あるようです。どちらにしても、できれば美味しい物を食べつつ体重の増加は避けたいと誰もが願うところですが、我が家ではついつい食べ過ぎてしまい反省の毎日です。

ヤフヤ